

# マイナ保険証の円滑な利用について

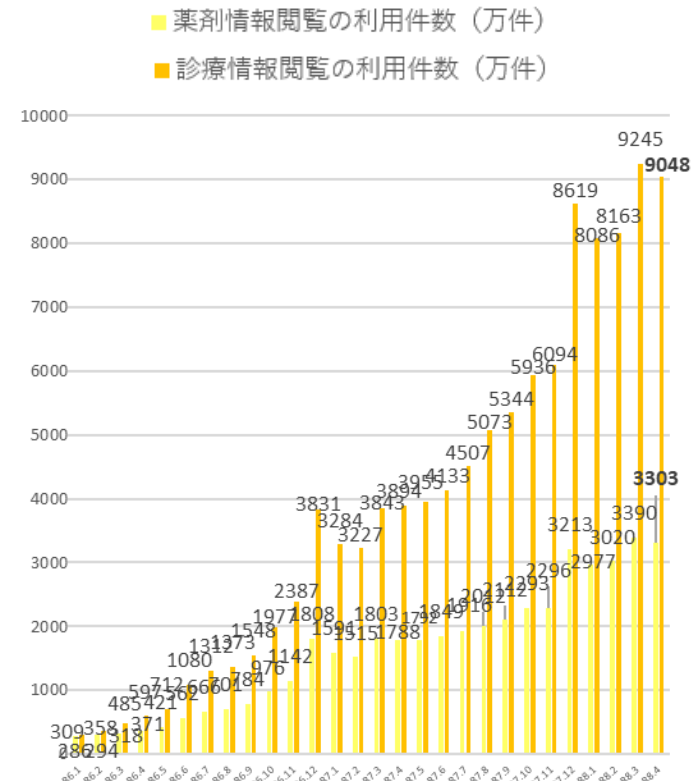
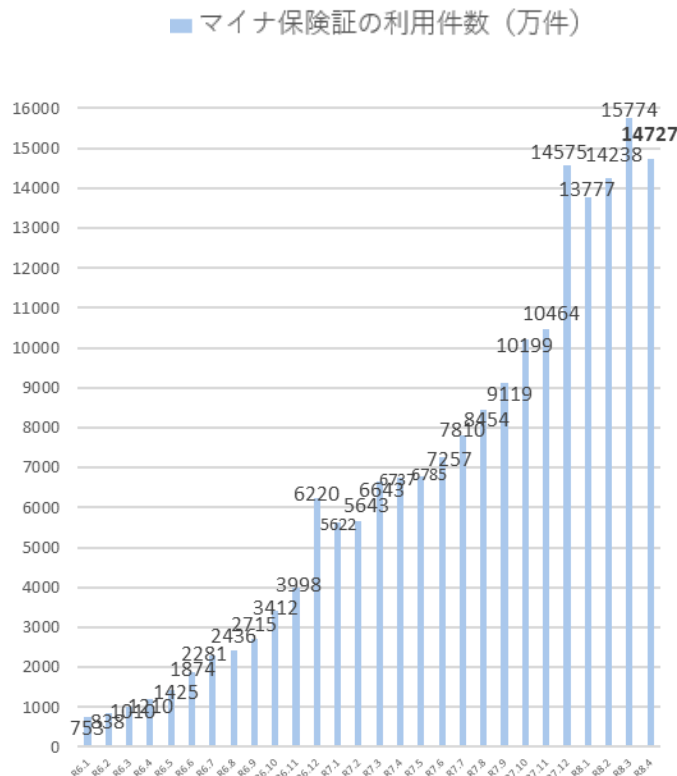
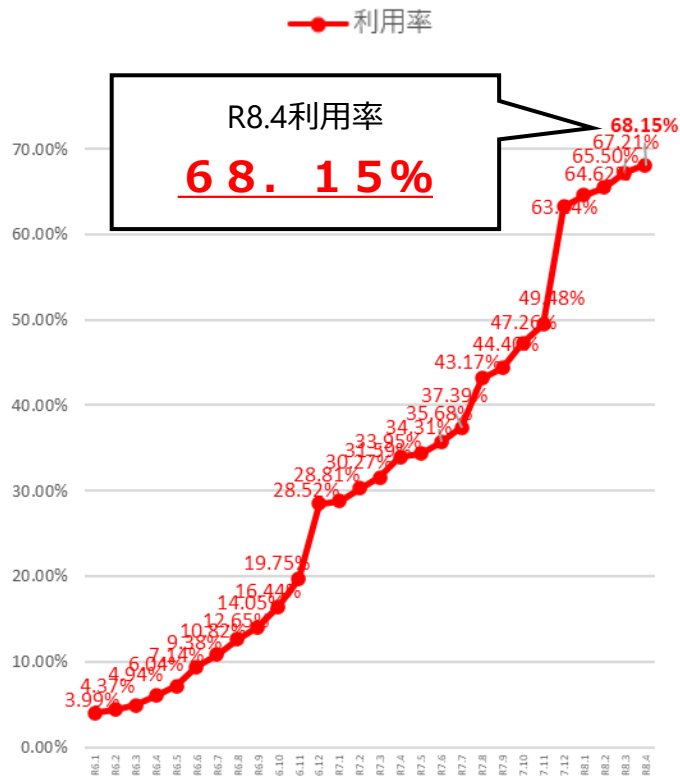
1. マイナ保険証の利用状況
2. スマートフォンでのマイナ保険証利用
3. 第2世代（次期）顔認証付きカードリーダー
4. マイナ救急の取組
5. 医療機関等の窓口での対応に関する周知

# マイナ保険証の利用状況



# マイナ保険証の利用状況

※利用率=マイナ保険証利用人数/レセプト件数



## 【4月分実績の内訳】

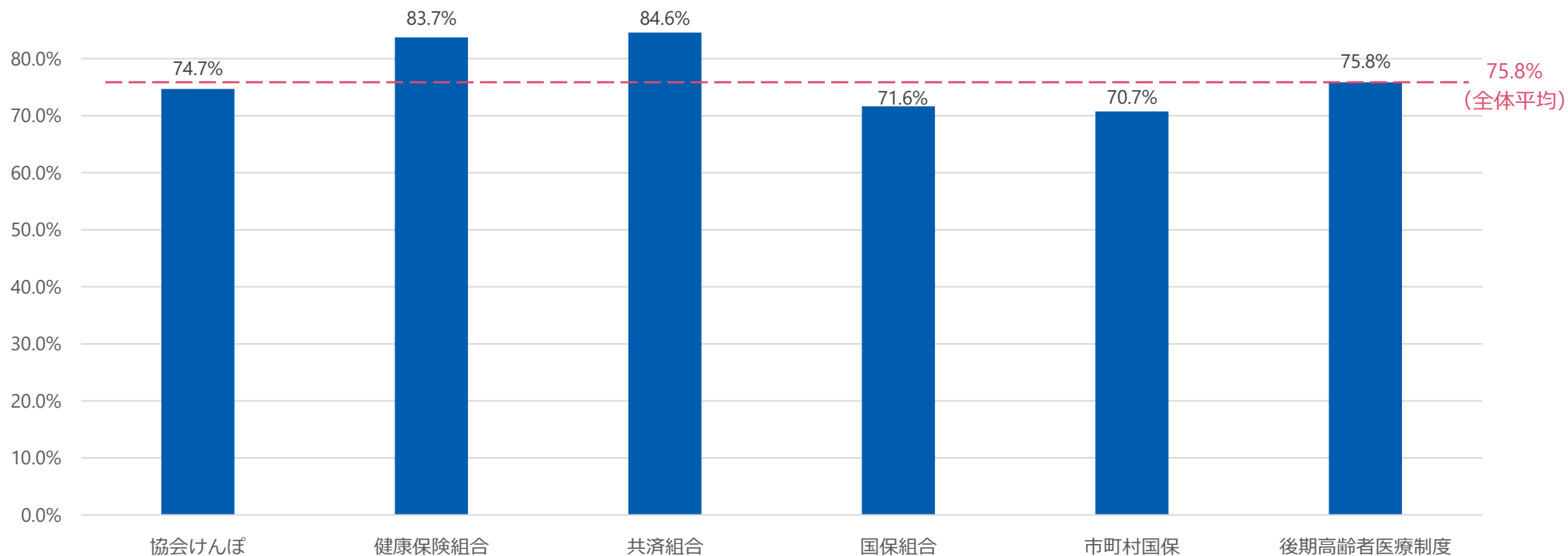
	合計 (人)	マイナンバーカード (人)	資格確認書 (人)
病院	20,884,750	14,306,574	6,578,176
医科診療所	68,891,591	49,020,683	19,870,908
歯科診療所	21,429,701	15,326,493	6,103,208
薬局	59,007,778	37,346,086	21,661,692
<b>総計</b>	<b>170,213,820</b>	<b>115,999,836</b>	<b>54,213,984</b>

	特定健診等情報 (件)	薬剤情報 (件)	診療情報 (件)
病院	5,464,093	2,132,192	9,284,905
医科診療所	18,370,132	17,158,793	43,877,451
歯科診療所	5,479,251	4,054,828	6,007,323
薬局	17,112,023	9,688,302	31,314,972
<b>総計</b>	<b>46,425,499</b>	<b>33,034,115</b>	<b>90,484,651</b>

# 制度別のマイナ保険証利用登録状況（令和8年4月末時点）

全ての保険制度において、加入者数に占めるマイナ保険証の利用登録数の割合は70%を超えている。

## 保険制度別のマイナ保険証の利用登録割合



※利用登録割合 = マイナ保険証利用者数/加入者数

# スマートフォンでのマイナ保険証利用

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# スマートフォンでのマイナ保険証利用について

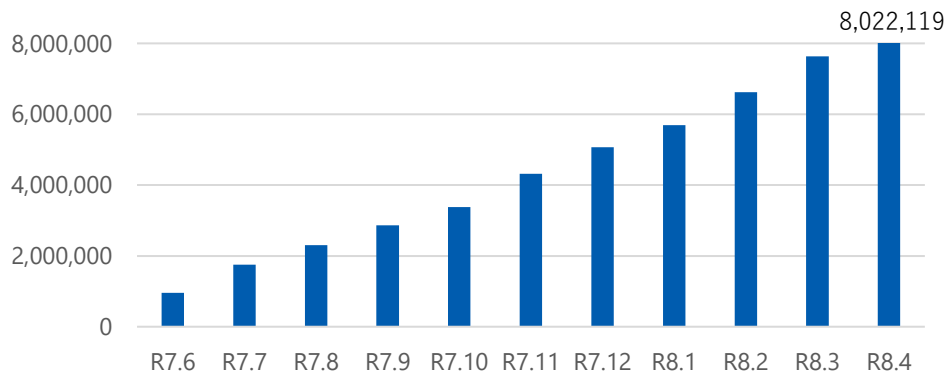
- スマートフォンでのマイナ保険証は、現在約12万の医療機関・薬局で受付が可能となっている。また、令和8年3月には、訪問診療や訪問看護を行う施設等での読み取りに利用するマイナ資格アプリでも読み取りが可能となっている。
- スマートフォンのマイナンバーカード搭載件数は約800万件、医療機関等での利用も増加している（累計で500万件超）。
- 令和8年度より、本体のみでスマートフォンの読み取りが可能で第2世代顔認証付きカードリーダーが順次販売開始（P8参照）。
- 実物のマイナンバーカードに加え、スマートフォンのマイナ保険証の利用定着に向け、引き続き医療機関・薬局への周知を進めていく。

## スマホ対応済み施設数

※令和8年6月7日現在

	病院・医科診療所	歯科診療所	薬局	合計
スマホ対応済み施設数	50,374	30,552	44,121	125,047
(参考) オン資導入施設数 ※令和8年3月29日現在	91,068	60,645	60,856	212,569

## スマホのマイナンバーカード搭載件数

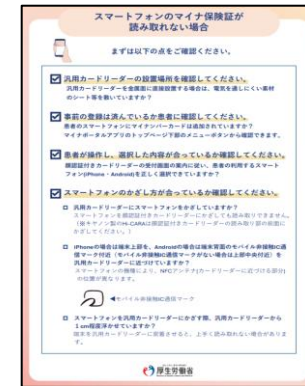
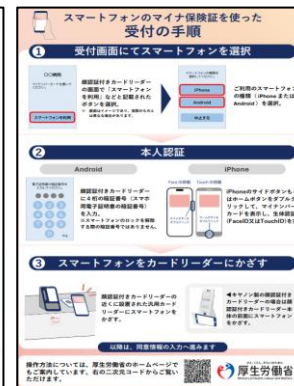


## 周知素材

○患者案内用リーフレット



○職員向けリーフレット



○受付ステッカー



3

## 第2世代（次期）顔認証付きカードリーダー

ひと、暮らし、みらいのために





厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

## 第2世代（次期）顔認証付きカードリーダーについて

- 現行の顔認証付きカードリーダーの保守期限到来に向けて、令和8年度より、第2世代（次期）顔認証付きカードリーダーが順次販売開始している。
- 第2世代（次期）顔認証付きカードリーダーを導入する医療機関・薬局に対し、令和7年度補正予算により一部費用の補助を実施。令和8年6月末日より申請受付の開始予定。  
（別売りのテンキーの導入・資格確認端末の入れ替えについても、カードリーダーの導入と同時申請の場合には補助対象）

### 第2世代（次期）顔認証付きカードリーダーの特徴について

メーカー	キヤノンマーケティングジャパン	パナソニック コネクト	リコージャパン※1
商品イメージ			
発売開始時期	令和8年4月22日	令和8年8月（予定）	令和8年10月（予定）
ハード・性能における主な特徴（共通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本体のみでスマートフォンの読取に対応（外付けの汎用カードリーダーが不要）</li> <li>• 操作手順やエラーの発生に関する音声案内機能を搭載</li> <li>• 顔認証制度の向上による顔認証エラーの低減</li> </ul>		
ハード・性能における主な特徴（独自）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 軽量でコンパクトなサイズ</li> <li>• 取り外し可能による多様な操作性</li> <li>• テンキー一体化構造により、テンキー操作が可能（外付けのテンキーが不要）</li> <li>• キヤノン社製の現行機（Hi-CARA）と混在の複数台接続が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 資格確認端末を内蔵（Windows PC）※2</li> <li>• 本体とレセコン間の接続はLAN接続となり設置自由度が向上</li> <li>• 専用外付けテンキーにより操作が可能※3</li> <li>• 背面インジケータを搭載し、受付カウンター越しに機器状態をお知らせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作しやすい7インチディスプレイ搭載</li> <li>• 現行機（富士通Japan社製Caora）から設置幅を約4センチ縮小</li> <li>• 操作箇所をお知らせする点滅ランプ搭載</li> <li>• 現行機（富士通Japan社製Caora）と混在の複数台接続が可能</li> </ul>

※1 富士通Japan社製顔認証付きカードリーダー（Caora）の後継機種として発売予定

※2 顔認証付きカードリーダーの設定のために別途、モニター等が必要。

※3 テンキーはオプションでの販売（令和8年10月発売予定）

4

## マイナ救急の取組

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# マイナ救急の取組（令和7年度実証事業と令和8年度の本格運用）



## マイナ救急〔マイナンバーカードを活用した救急業務の円滑化〕



➤マイナ救急とは、救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、病院選定等に資する情報を把握する取組

### 1. マイナ救急の流れ



### 2. 令和7年度実証事業の結果

- ・全720消防本部 5,334隊（令和7年10月1日から一斉開始）
- ・マイナ救急を実施した件数は 13,249件、実施率は 17.4% ※データ集計期間：R7.12.4～1週間
- ・一命をとりとめた事例あり。利用者、救急隊、医療機関から役に立ったとの声を頂いた。
- ・マイナ救急の認知度：15ポイント上昇（23.6% (R7.8) → 38.6% (R7.12)）



### 3. 令和8年度の取組み(各消防本部での本格運用)

- ・実施消防本部： 712消防本部（離島等を除く約99%の消防本部）
- ・実施救急隊：5,417隊（約97%の救急隊）



総務省消防庁HP



マイナ救急普及啓発動画



政府広報テレビCM

- ・マイナ保険証を搭載したスマートフォンへの対応を令和8年4月から開始
- ・マイナ救急の運用改善を図るとともに、マイナ救急の認知度向上のため広報を実施
- ・「救急医療情報連携プラットフォーム」(\*)に「マイナ救急」で得られる受診歴などの情報を連携させるための取組みを実施

(\*) 救急隊がこれまで医療機関に口頭で伝えている傷病者情報（主訴・バイタルサインなど）をデータとして登録することで、複数の医療機関と迅速かつ安全に情報共有できるプラットフォーム。救急搬送の効率化や救急医療の質の向上のため、厚生労働省を中心に構築に向けた検討が進められている。マイナ救急との連携により、バイタルサインなどの情報に加え、マイナ救急で得られる受診歴などの情報もまとめて、医療機関へ共有可能となる。

5

## 医療機関等の窓口での対応に関する周知

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# 健康保険証の有効期限・暫定的な取扱いの終了の周知

- 有効期限を過ぎた保険証を誤って医療機関等に持参した場合の暫定的な取扱いについて、本年7月末までを期限に実施してきた。この暫定措置の終了に当たり、期限を明記した以下のリーフレットを保険者、医療機関・薬局を通じて国民に周知するとともに、SNS等も活用して暫定措置の終了やマイナ保険証・資格確認書の持参を改めて呼びかけていく。
- 重ねて、福祉関係団体を通じて周知を行うなど、8月以降の受診に支障が生じないよう丁寧に対応していく。

## 周知用リーフレット (保険者向け)

(令和8年6月時点)

従来の健康保険証は**有効期限が終了**しています。

※有効期限切れに気付かず持参した場合は利用可能としていましたが、その対応も、**2026年7月31日**で終了です。

医療機関・薬局の受付では、**マイナ保険証が資格確認書**を。

### マイナ保険証・資格確認書について

**マイナ保険証**とは

- 健康保険証の利用登録をしたマイナンバーカードが、マイナ保険証です※「マイナ保険証」という新たな証明書が交付されるわけではありません
- 利用登録状況はマイナポータルでご確認できます
- 今は資格確認書を使っているという方も、ぜひ切り替えをお願いします

マイナ保険証の基本的な情報をまとめたガイドはこちら

**資格確認書**とは

- マイナ保険証の利用登録をしていない方などに、保険者から交付されます
- 「資格情報のお知らせ」とは異なる書類ですのでご注意ください
- 保険者により、大きさ・色・形・提供方法(紙または電子)などは異なります
- ご利用前に、書類上部に「資格確認書」と記載されているかご確認ください

### マイナ保険証のメリット

- 過去のお薬・診療データに基づく、より良い医療が受けられる
- 突然の手術・入院でも高額支払いが不要になる
- 救急現場で、搬送中の適切な処置や搬送先の選定などに活用されるなど

### マイナ保険証の始め方

受診する際にマイナンバーカードをお持ちください

マイナ保険証の利用登録をしていない場合も、医療機関・薬局にマイナンバーカードをお持ちいただくと、そ場で登録できます。

## マイナ保険証の利用登録状況と、電子証明書の有効期限のご確認をお願いいたします！

### マイナ保険証の利用登録状況の確認方法

- スマートフォン・マイナンバーカードを用意します
- 「マイナポータル(モバイルアプリ)」にログインします。
- 「健康保険証」を押します
- 「未登録」もしくは「登録済み」と表示されるのでご自身の登録状況をご確認ください

「未登録」の方は、画面に表示される「登録」をタップするとその場で登録完了できます！

**あわせて確認！電子証明書の有効期限**

- マイナンバーカードには、「ログインした者が、あなたであること」を証明するための電子証明書が搭載されています。
- 電子証明書には、有効期限が設定されています(確認方法は右図参照)。有効期限通知書がお手元に届きましたら、お早めに更新をお願いします。
- なお、電子証明書の有効期限切れから3カ月間は、引き続きマイナ保険証で受診できます。ただし、保険資格情報の提供のみで、診療情報・薬剤情報等の提供はできません。
- ※有効期限満了日が属する月の末日から3カ月間
- ※スマートフォンのマイナ保険証については、実物のマイナンバーカードの有効期限まで

### よくある質問

マイナ保険証でないと受診できないの？

資格確認書でもこれまで通り医療にかかることができます。資格確認書は、マイナ保険証をお持ちでない方などに申請によらず交付されます。また、マイナ保険証をお持ちでも、マイナ保険証の利用が難しい場合は、申請により資格確認書の交付を受けることができます。

0120-95-0178

マイナ保険証についてもっと知りたい方はこちら

厚生労働省

## 周知用リーフレット (医療機関・薬局向け)

### 医療機関・薬局の受付で使えるもの

**マイナ保険証**

「マイナンバーカード」をお持ちください。

※利用登録がまだの方や登録済みか分からない方もその場で、登録状況を確認し利用登録ができます。

**資格確認書**

「資格確認書」と記載されているかご確認ください。

※保険者により大きさ・形・色などは異なります。

**従来の健康保険証**

「被保険者証」などと記載されています。有効期限は終了しています。

マイナ保険証が資格確認書をお持ちください。

※有効期限切れに気付かず持参した場合は利用可能としていましたが、その対応も、2026年7月31日で終了です。

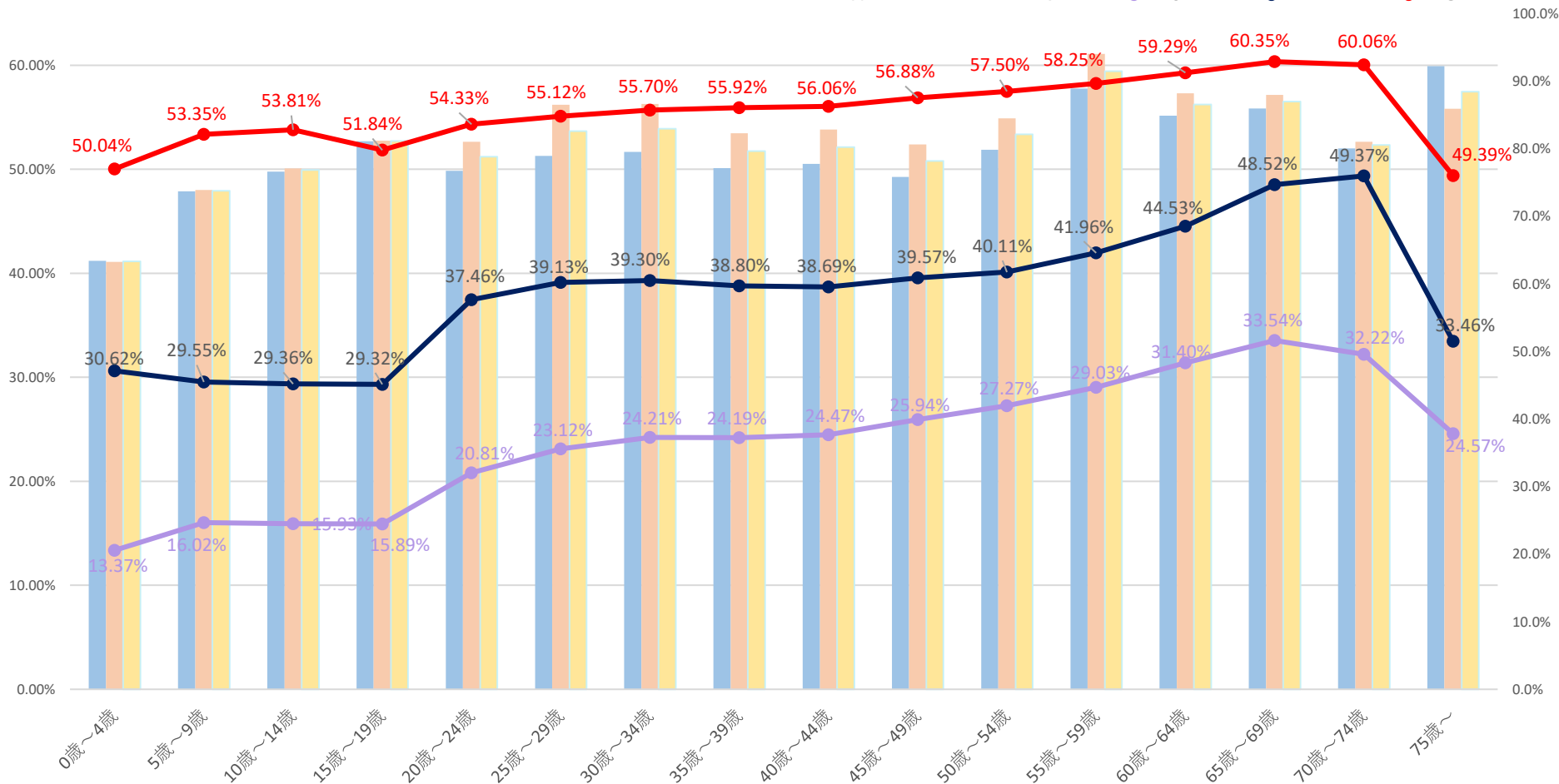
## 参考資料



# マイナ保険証利用率（年齢階層別）

マイナカード保有率（右軸）： 男 女 全体

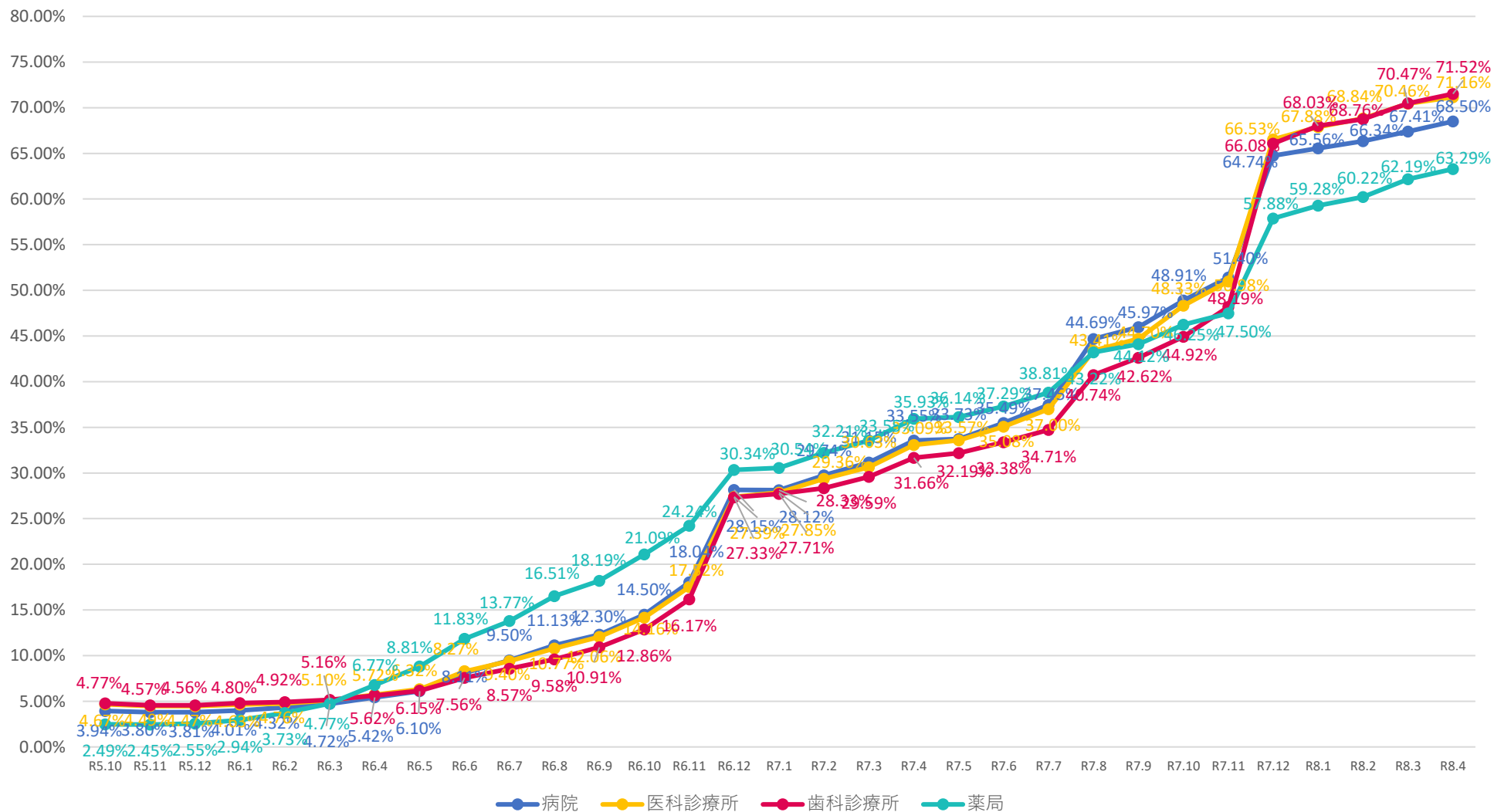
マイナ保険証利用率（左軸）： R6.12 R7.11 R8.4



※利用率=マイナ保険証利用件数/オンライン資格確認利用件数（オンライン診療を除く：名寄せ前）

※マイナカード保有率は令和8年3月時点のデータ

# 施設類型別のマイナ保険証利用率の推移

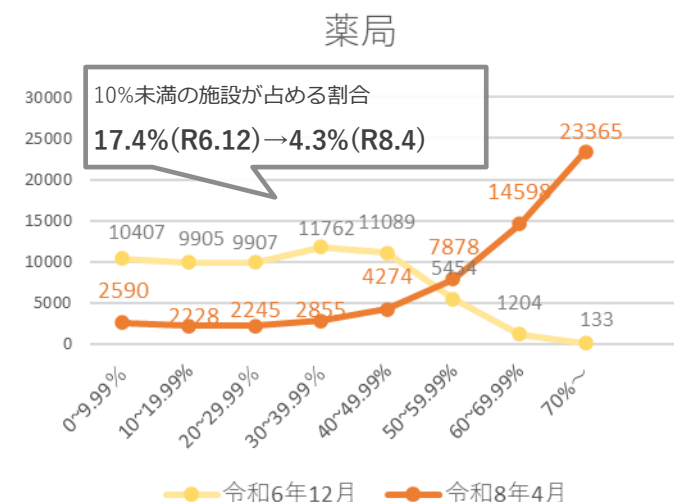
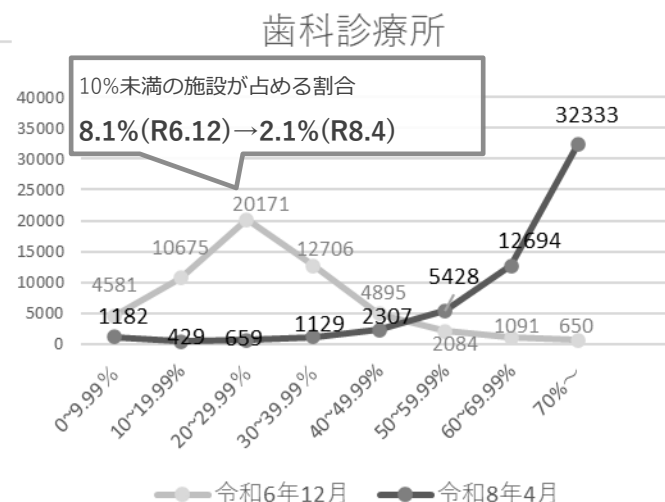
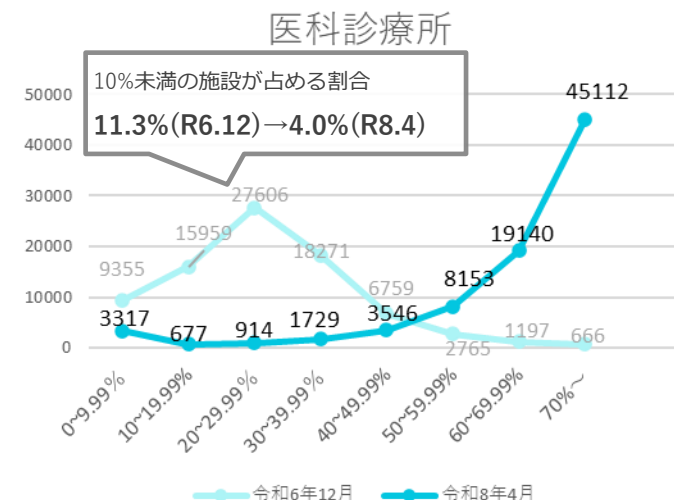
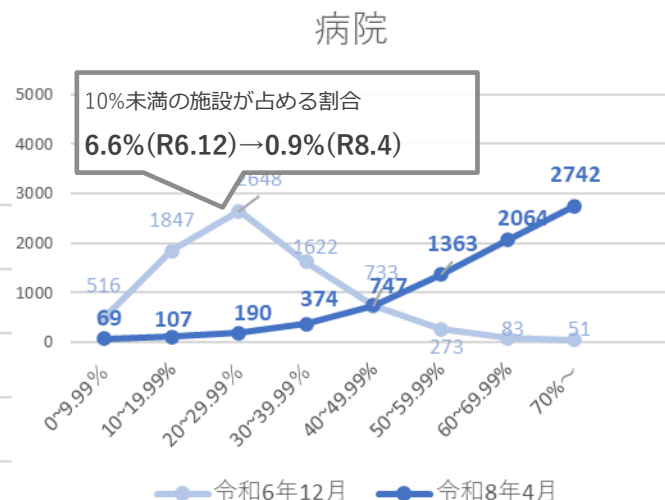
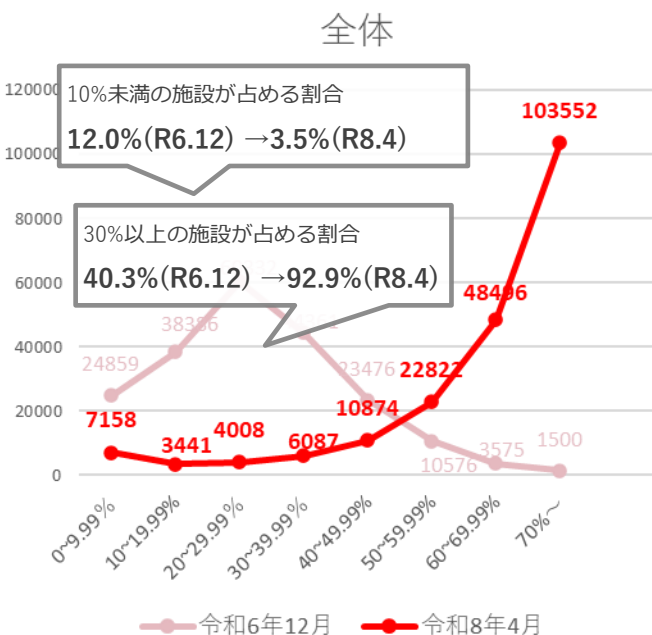


※ 利用割合 = MNC利用人数 / レセプト件数

# マイナ保険証の利用状況

## ■ マイナ保険証利用割合ごとの施設数の分布 (レセプトベース利用割合)

令和6年12月、令和8年4月時点



※ 利用割合 = MNC利用人数 / レセプト件数  
 ※ レセプト件数50以上等の施設を対象に算出 (施設数: 207,065(R6.12)、206,438(R8.4))

# オンライン資格確認 マイナ保険証の利用実績 (都道府県別の医療機関・薬局での利用 (令和8年4月))

○ 都道府県別のマイナ保険証の利用率 (令和8年4月) は以下のとおり。

※黄色 = 上位5県 灰色 = 下位5県

都道府県名	利用率
北海道	66.54% (+0.80%)
青森県	71.87% (+0.84%)
岩手県	69.07% (+0.71%)
宮城県	71.21% (+0.68%)
秋田県	67.76% (+1.24%)
山形県	72.21% (+0.82%)
福島県	69.99% (+1.05%)
茨城県	71.27% (+0.81%)
栃木県	71.60% (+1.09%)
群馬県	69.13% (+1.07%)
埼玉県	68.14% (+0.75%)
千葉県	70.22% (+0.79%)
東京都	66.17% (+1.25%)
神奈川県	68.29% (+0.90%)

全国	68.15% (+0.94%)
----	-----------------

都道府県名	利用率
新潟県	73.44% (+1.01%)
富山県	77.91% (+1.03%)
石川県	73.45% (+1.10%)
福井県	74.44% (+1.00%)
山梨県	68.02% (+1.30%)
長野県	66.34% (+0.93%)
岐阜県	71.45% (+1.58%)
静岡県	74.47% (+0.70%)
愛知県	70.26% (+0.94%)
三重県	69.41% (+0.59%)
滋賀県	70.24% (+0.79%)
京都府	63.74% (+0.95%)
大阪府	61.85% (+0.98%)
兵庫県	66.38% (+0.91%)
奈良県	66.11% (+0.70%)
和歌山県	63.09% (+0.92%)

都道府県名	利用率
鳥取県	69.94% (+1.74%)
島根県	70.51% (+1.38%)
岡山県	67.23% (+1.28%)
広島県	69.20% (+0.85%)
山口県	72.54% (+0.95%)
徳島県	61.19% (+0.97%)
香川県	64.81% (+1.30%)
愛媛県	66.14% (+0.78%)
高知県	59.05% (+1.17%)
福岡県	67.11% (+0.81%)
佐賀県	71.81% (+1.22%)
長崎県	67.66% (+1.14%)
熊本県	71.75% (+0.66%)
大分県	66.97% (+1.24%)
宮崎県	76.42% (+0.99%)
鹿児島県	73.46% (+0.84%)
沖縄県	55.31% (+1.05%)

※ 利用率 = マイナ保険証利用人数 ÷ レセプト件数  
(括弧内の値は令和8年3月の値からの変化量 (%ポイント))

# 施設類型別・都道府県別の利用実績

※ 利用率 = マイナ保険証利用人数 ÷ レセプト件数

## 【医科診療所】

順位	R8.3順位	都道府県	利用率	MNC利用人数	資格確認書等
1	(1)	富山	80.02%	376,978	94,117
2	(2)	宮崎	78.35%	431,271	119,202
3	(3)	静岡	77.02%	1,602,178	478,163
4	(4)	石川	76.59%	401,265	122,666
5	(7)	福井	76.20%	269,495	84,174
6	(5)	鹿児島	76.06%	607,825	191,326
7	(8)	新潟	75.88%	840,375	267,193
8	(6)	山口	75.51%	587,779	190,583
9	(9)	佐賀	75.28%	338,064	110,987
10	(10)	岐阜	75.05%	856,461	284,706
11	(12)	島根	74.58%	279,458	95,238
12	(11)	山形	74.57%	464,130	158,247
13	(17)	滋賀	73.87%	524,130	185,373
14	(16)	鳥取	73.84%	208,881	74,021
15	(14)	青森	73.74%	494,481	176,123
16	(20)	栃木	73.70%	759,108	270,891
17	(15)	熊本	73.47%	703,477	254,000
18	(19)	愛知	73.31%	3,330,899	1,212,395
19	(18)	千葉	72.87%	2,193,880	816,644
20	(13)	宮城	72.76%	932,562	349,080
21	(23)	茨城	72.75%	947,917	354,978
22	(22)	福島	72.69%	688,572	258,678
23	(21)	広島	72.43%	1,132,494	430,986
24	(24)	長崎	71.92%	509,778	198,988
25	(26)	神奈川	71.85%	3,798,813	1,488,278
26	(25)	三重	71.42%	724,658	289,946
27	(27)	群馬	71.30%	745,750	300,242
28	(28)	岩手	71.29%	452,889	182,414
29	(31)	山梨	71.24%	302,194	122,018
30	(30)	秋田	70.99%	352,928	144,241

## 【病院】

順位	R8.3順位	都道府県	利用率	MNC利用人数	資格確認書等
1	(1)	富山	81.06%	168,788	39,431
2	(2)	島根	78.04%	89,029	25,058
3	(3)	石川	77.72%	169,924	48,712
4	(4)	宮崎	77.04%	159,552	47,557
5	(5)	山口	76.22%	165,741	51,706
6	(6)	鹿児島	75.75%	239,429	76,649
7	(7)	福井	75.30%	118,610	38,910
8	(8)	山形	74.73%	139,259	47,096
9	(9)	佐賀	74.03%	116,031	40,710
10	(10)	静岡	73.70%	375,672	134,093
11	(11)	熊本	72.56%	234,901	88,841
12	(12)	山梨	72.30%	108,740	41,653
13	(15)	鳥取	72.30%	74,794	28,653
14	(14)	新潟	72.06%	265,825	103,082
15	(13)	青森	71.88%	151,126	59,130
16	(16)	宮城	71.75%	257,162	101,274
17	(18)	三重	71.72%	185,864	73,284
18	(23)	岐阜	71.45%	213,517	85,324
19	(17)	長野	70.95%	297,323	121,746
20	(19)	広島	70.90%	318,592	130,791
21	(26)	福島	70.61%	221,008	91,996
22	(20)	茨城	70.58%	360,662	150,311
23	(25)	長崎	70.53%	171,576	71,689
24	(21)	大分	70.29%	174,741	73,870
25	(22)	千葉	70.27%	708,994	299,998
26	(24)	栃木	70.26%	241,097	102,044
27	(29)	岩手	69.03%	127,564	57,242
28	(28)	神奈川	68.44%	803,135	370,274
29	(31)	愛知	68.34%	725,262	335,976
30	(27)	奈良	68.21%	171,678	80,017

# 施設類型別・都道府県別の利用実績

※ 利用率 = マイナ保険証利用人数 ÷ レセプト件数

## 【医科診療所】

順位	R8.3順位	都道府県	利用率	MNC利用人数	資格確認書等
31	(37)	岡山	<b>70.86%</b>	659,915	271,439
32	(35)	大分	<b>70.56%</b>	387,340	161,594
33	(34)	愛媛	<b>70.51%</b>	476,306	199,242
34	(29)	奈良	<b>70.43%</b>	501,268	210,434
35	(32)	福岡	<b>70.43%</b>	2,089,491	877,273
36	(36)	長野	<b>70.06%</b>	702,161	300,111
37	(33)	北海道	<b>69.94%</b>	1,604,186	689,501
38	(38)	埼玉	<b>69.87%</b>	2,580,611	1,112,916
39	(39)	東京	<b>69.53%</b>	6,059,656	2,655,426
40	(40)	香川	<b>69.19%</b>	354,958	158,080
41	(41)	兵庫	<b>69.09%</b>	2,222,512	994,147
42	(42)	京都	<b>66.96%</b>	876,252	432,347
43	(43)	和歌山	<b>66.30%</b>	360,204	183,076
44	(45)	大阪	<b>65.89%</b>	3,513,594	1,818,781
45	(44)	高知	<b>65.09%</b>	172,441	92,469
46	(46)	徳島	<b>63.97%</b>	233,333	131,434
47	(47)	沖縄	<b>57.06%</b>	367,765	276,740

## 【病院】

順位	R8.3順位	都道府県	利用率	MNC利用人数	資格確認書等
31	(38)	群馬	<b>68.02%</b>	215,820	101,484
32	(32)	埼玉	<b>67.60%</b>	720,120	345,135
33	(34)	岡山	<b>67.38%</b>	267,149	129,315
34	(30)	兵庫	<b>67.34%</b>	577,841	280,234
35	(33)	愛媛	<b>67.14%</b>	191,385	93,683
36	(35)	和歌山	<b>67.04%</b>	119,779	58,878
37	(36)	滋賀	<b>66.79%</b>	147,187	73,202
38	(37)	北海道	<b>66.65%</b>	784,263	392,341
39	(39)	福岡	<b>66.64%</b>	558,843	279,816
40	(41)	香川	<b>65.39%</b>	132,027	69,867
41	(40)	京都	<b>65.23%</b>	293,197	156,277
42	(42)	東京	<b>65.08%</b>	1,421,080	762,591
43	(43)	徳島	<b>64.34%</b>	103,760	57,497
44	(44)	大阪	<b>63.07%</b>	872,223	510,799
45	(45)	高知	<b>62.31%</b>	114,199	69,087
46	(46)	秋田	<b>57.51%</b>	107,716	79,584
47	(47)	沖縄	<b>55.12%</b>	124,389	101,269

# 施設類型別・都道府県別の利用実績

※ 利用率 = マイナ保険証利用人数 ÷ レセプト件数

## 【歯科診療所】

順位	R8.3順位	都道府県	利用率	MNC利用人数	資格確認書等
1	(1)	富山	82.94%	129,496	26,645
2	(2)	島根	79.51%	76,209	19,645
3	(4)	宮崎	79.45%	124,311	32,145
4	(3)	静岡	79.41%	472,169	122,393
5	(6)	石川	79.26%	122,252	31,989
6	(5)	山形	78.54%	134,589	36,774
7	(10)	福井	78.31%	81,573	22,592
8	(8)	新潟	77.88%	249,330	70,827
9	(9)	青森	77.51%	117,583	34,115
10	(7)	山口	77.46%	170,245	49,527
11	(11)	栃木	77.30%	239,793	70,430
12	(13)	鳥取	76.68%	63,243	19,233
13	(15)	岐阜	76.41%	279,472	86,305
14	(12)	鹿児島	75.85%	187,729	59,760
15	(14)	秋田	75.72%	99,005	31,752
16	(16)	佐賀	75.68%	105,142	33,793
17	(20)	滋賀	75.59%	169,161	54,616
18	(17)	宮城	75.26%	276,511	90,920
19	(18)	福島	74.92%	189,637	63,487
20	(19)	岩手	74.68%	124,186	42,104
21	(24)	群馬	74.23%	232,597	80,767
22	(22)	茨城	74.18%	324,674	112,999
23	(21)	三重	74.15%	225,405	78,574
24	(23)	熊本	73.86%	212,221	75,089
25	(30)	山梨	73.67%	99,846	35,680
26	(26)	愛知	73.55%	1,077,186	387,315
27	(25)	長崎	73.35%	161,930	58,836
28	(29)	千葉	73.26%	787,480	287,492
29	(27)	長野	72.67%	230,971	86,878
30	(28)	広島	72.42%	345,004	131,405

## 【薬局】

順位	R8.3順位	都道府県	利用率	MNC利用人数	資格確認書等
1	(1)	宮崎	73.30%	390,864	142,389
2	(2)	富山	72.05%	298,864	115,952
3	(5)	福井	70.27%	194,990	82,516
4	(4)	新潟	70.04%	740,320	316,699
5	(3)	静岡	69.98%	1,218,777	522,837
6	(7)	茨城	68.98%	863,950	388,471
7	(8)	鹿児島	68.97%	521,128	234,504
8	(6)	熊本	68.75%	574,461	261,140
9	(9)	青森	68.60%	443,134	202,865
10	(10)	宮城	68.09%	797,338	373,699
11	(12)	栃木	67.68%	596,428	284,873
12	(11)	山形	66.69%	364,560	182,105
13	(13)	山口	66.49%	460,827	232,202
14	(20)	佐賀	66.37%	297,998	150,979
15	(15)	秋田	66.25%	319,535	162,812
16	(14)	千葉	66.09%	1,812,809	930,173
17	(16)	埼玉	65.89%	2,189,277	1,133,419
18	(22)	石川	65.66%	292,695	153,083
19	(21)	愛知	65.44%	2,253,794	1,190,471
20	(23)	滋賀	65.34%	401,467	212,975
21	(17)	福島	65.31%	556,634	295,672
22	(19)	岩手	65.11%	384,578	206,099
23	(26)	岐阜	65.10%	607,518	325,678
24	(24)	群馬	64.72%	515,939	281,205
25	(18)	三重	64.36%	520,577	288,324
26	(25)	広島	63.81%	870,318	493,682
27	(28)	神奈川	62.81%	2,805,220	1,660,869
28	(27)	福岡	62.62%	1,680,476	1,003,207
29	(32)	鳥取	62.05%	149,747	91,594
30	(30)	東京	61.78%	4,376,848	2,707,267

# 施設類型別・都道府県別の利用実績

※ 利用率 = マイナ保険証利用人数 ÷ レセプト件数

## 【歯科診療所】

順位	R8.3順位	都道府県	利用率	MNC利用人数	資格確認書等
31	(32)	大分	<b>72.39%</b>	110,394	42,115
32	(33)	和歌山	<b>71.89%</b>	103,100	40,304
33	(36)	神奈川	<b>71.76%</b>	1,134,880	446,525
34	(34)	愛媛	<b>71.43%</b>	156,852	62,738
35	(31)	北海道	<b>71.37%</b>	530,704	212,887
36	(35)	岡山	<b>71.15%</b>	223,116	90,483
37	(37)	奈良	<b>70.07%</b>	154,482	65,994
38	(38)	福岡	<b>69.92%</b>	640,346	275,442
39	(39)	埼玉	<b>69.47%</b>	879,979	386,758
40	(41)	兵庫	<b>69.11%</b>	678,307	303,168
41	(40)	香川	<b>68.97%</b>	113,844	51,219
42	(44)	東京	<b>67.73%</b>	1,832,138	872,880
43	(42)	高知	<b>67.43%</b>	69,187	33,412
44	(43)	京都	<b>67.27%</b>	279,404	135,967
45	(45)	徳島	<b>65.52%</b>	80,035	42,115
46	(46)	大阪	<b>64.34%</b>	1,119,164	620,347
47	(47)	沖縄	<b>56.26%</b>	111,611	86,767

## 【薬局】

順位	R8.3順位	都道府県	利用率	MNC利用人数	資格確認書等
31	(29)	北海道	<b>61.76%</b>	1,487,018	920,830
32	(31)	兵庫	<b>61.74%</b>	1,626,591	1,007,967
33	(33)	岡山	<b>61.24%</b>	476,659	301,720
34	(34)	山梨	<b>61.04%</b>	242,502	154,806
35	(35)	島根	<b>60.68%</b>	200,536	129,938
36	(37)	大分	<b>60.34%</b>	329,027	216,279
37	(36)	長崎	<b>60.02%</b>	390,144	259,923
38	(39)	愛媛	<b>58.56%</b>	339,129	240,013
39	(38)	奈良	<b>58.16%</b>	327,079	235,285
40	(41)	香川	<b>58.03%</b>	260,979	188,784
41	(42)	長野	<b>57.75%</b>	514,566	376,494
42	(40)	京都	<b>57.53%</b>	588,210	434,227
43	(44)	大阪	<b>55.07%</b>	2,235,444	1,824,056
44	(43)	徳島	<b>54.50%</b>	166,944	139,352
45	(46)	和歌山	<b>53.63%</b>	210,160	181,725
46	(45)	沖縄	<b>53.15%</b>	312,278	275,249
47	(47)	高知	<b>48.33%</b>	137,749	147,283

# 次期顔認証付きカードリーダーについて

- 現行の顔認証付きカードリーダーは、医療DXの基盤となるオンライン資格確認を行うための重要なインフラとして普及を推進し、概ねすべての医療機関等へ導入が完了。
- マイナ保険証を基本とする仕組みへの移行も踏まえ、更なるカードリーダーの利便性向上のため、保守期限の到来（令和8年3月末から順次）に向けて次の規格の顔認証付きカードリーダーの仕様を令和7年2月17日に公表し、メーカーを公募。

## 次期顔認証付きカードリーダーの仕様に係る検討方針

マイナ保険証での資格確認に当たっては、顔認証が医療機関・薬局に浸透しつつある中、現状では引き続き顔認証付きカードリーダーが必要であり、これまでの運用での課題や今後のニーズを踏まえ、患者・医療機関双方の利便性が向上されるよう、カードリーダーの製造に当たっての要件を追加しつつ、性能改善を図る。

### 現行のカードリーダーの運用上の課題・ニーズ

- 今後搭載予定のスマホ用電子証明書の読み取りには一部機種しか対応していない（外付けの汎用カードリーダーが必要）
- 視覚障害者が一人でカードリーダー上の操作（顔認証、暗証番号の入力等）を行うことが困難
- 端末によって画面（特に同意ボタン）がバラバラで操作しづらい、高齢者にとっては文字が判読しづらい
- 顔認証やその他の場面でエラーが起きて受付に時間がかかる

### 次期顔認証付きカードリーダーでの対応

- 顔認証付きカードリーダー単体でのスマホ用電子証明書の読み取りに対応
- 認証状況やエラーの発生に関する音声案内機能
- 操作手順に関する音声案内機能、テンキー搭載（※）
- 画面レイアウトの統一や、視認性、操作性の改善等によるユーザビリティの向上
- 顔認証精度の向上による顔認証エラーの低減、エラー時の自動再接続による復旧時間の短縮 等

このほか、接続エラー低減のための端末接続部の耐久性強化や、複数台の顔認証付きCRを1台の資格確認端末（PC）に対して接続する等の性能改善も実施。

## マイナ救急 活用事例(令和7年度実証事業)

事例	吐血により出血性ショックの事例 (一命を取り留めたケース)
通報内容	夫が貧血で動けない(帰宅した妻からの通報)
年齢性別	50歳男性
現場状況	傷病者は廊下につつ伏せて倒れた状態。 昨夜から4回の吐血があり、1年前に同様の症状でかかりつけ医療機関で手術歴があるが、病名は本人、家族を含めて覚えていない状況であった。
救急活動	初期評価からショック状態、心肺停止前静脈路確保の処置が必要であると判断。観察、処置を優先し、搬送中にマイナ救急で情報を確認したところ、手術歴から食道静脈瘤の既往があることを推測し、速やかに搬送先医療機関へ伝達した。
<b>〈マイナ救急の有用性〉</b> 傷病者、家族が過去の手術歴や既往歴について、詳細を把握していない状況であったが、搬送中、マイナ救急で情報を確認し、手術歴から推測される既往を搬送先医療機関へ伝達することで、搬送先医療機関での早期治療に繋り、一命を取り留めることができた。	

事例	情報聴取困難かつお薬手帳も無かった事例 (医療機関の早期治療に繋がったケース)
通報内容	夫が椅子に座っていたところ、突然崩れ落ち、地面に倒れこんだ(妻からの通報)
年齢性別	62歳男性
現場状況	傷病者は台所付近につつ伏せており、意識清明。 左半身の麻痺により動けない状態であり、うまく喋ることができない状態であった。家族も動揺しており、状況を聞き取ることが困難であり、お薬手帳も探せない状態であった。
救急活動	観察を行ったのち、マイナ救急で薬剤情報を確認し、速やかに医療機関へ伝達した。
<b>〈マイナ救急の有用性〉</b> 傷病者や家族から、情報を聴取することが難しいかつお薬手帳もない状況で、マイナ救急で薬剤情報を確認することにより、多数処方されている薬を正確に医療機関へ伝達することで、医師へスムーズに引継ぐことができ、医療機関の早期治療に繋がった。	

事例	聴取した内容と閲覧した情報に相違があった事例 (円滑な病院選定に繋がったケース)
通報内容	ふらついており、会話不明瞭。(勤務先の同僚からの通報)
年齢性別	41歳女性
現場状況	傷病者は勤務先の休憩室に座っており、意識ははっきりしない状態であった。本人氏名を自筆させると記入できず、ふらつきも認められた。また、本人及び同僚からは傷病者の持病などの情報は得られず、家族も連絡が取れない状況であった。
救急活動	観察と並行し、マイナ救急で薬剤情報(抗てんかん薬)を確認し、これらの医療情報に基づき円滑に搬送先を選定し、搬送した。
<b>〈マイナ救急の有用性〉</b> 傷病者情報が少なく、医療機関の選定に苦慮する事案であったが、マイナ救急で薬剤情報を確認することで、かかりつけ医療機関への円滑な搬送に繋がった。	

事例	かかりつけ医療機関が曖昧であった事例 (医師への正確な引継ぎに繋がったケース)
通報内容	力が入らない(娘からの通報)
年齢性別	72歳女性
現場状況	傷病者は居間に座った状態で頭痛及び倦怠感を訴えており、意識清明。心臓に関する既往で通院しているが、本人も現場にいた娘も記憶が曖昧で、名称が類似している別の医療機関をかかりつけと認識していた。
救急活動	観察を行ったのち、マイナ救急で正しいかかりつけ医療機関名や治療経過を確認し、速やかに搬送先医療機関へ伝達した。
<b>〈マイナ救急の有用性〉</b> 傷病者は、名称が類似している別の医療機関をかかりつけと認識していたが、マイナ救急の情報により正しいかかりつけ医療機関名や治療経過を搬送先医療機関へ提供することができ、医師への正確な引継ぎに繋がった。	